

# 株主の皆さまへ

第165期事業概況

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで



北陸瓦斯株式会社

# 株主の皆さまへ

平素は格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社では第165期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の決算を終えましたので、ここに第165期の事業概況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、実質賃金の伸び悩みにより個人消費で停滞感が見られたものの、政府の経済政策や日銀の金融政策の効果から、雇用、所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

エネルギー業界におきましては、平成28年4月の電力小売り全面自由化に続き、平成29年4月にはガスも小売り全面自由化が決定しており、エネルギー間の垣根を越えた相互参入や異業種からの新規参入の動きが高まるなど、当社を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

こうした情勢下にありますと、当社は総力をあげて都市ガスの普及拡大、事業基盤の強化および保安の確保に取り組んでまいりました。

部門別業績ならびに収支の状況につきましては、3頁以降に記載のとおりであります。当期の期末配当金につきましては、財政状態、業績を勘案のうえ、普通株式1株につき8円とさせていただきます。

次に会社が対処すべき課題について申し上げます。

日本経済の先行きにつきましては、雇用、所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されております。

一方、電力に続き平成29年にガスの小売り全面自由化が実施されるなど、当社を取り巻く事業環境は変革期を迎えており、今後は新規参入や異業種連携の動きが活性化するなど、自由化に向けて競争環境はますます厳しくなると想定されます。

そのような状況のなか、当社はお客さまから選択され続ける企業となるため、生産・供給体制を強

化し、都市ガスを中心としたエネルギーを安定的に供給するとともに、お客さまの多様なニーズに対応した高品質なサービスを提供し、より地域に密着した事業活動を展開してまいります。

また、当社は「暮らしをスマートにするガスの先進性」を「ガ、スマート！」というコンセプトワードにこめて広く訴求し、お客さまとのコミュニケーション促進に努めてまいります。

さらに、3カ年計画の最終年となる中期家庭用ガス機器販売戦略「プロジェクトE<sup>3</sup>-Ene·farm Energy Evolution-」の目標達成に向け全社をあげて取り組んでまいります。具体的には、家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大による発電需要の開発を主体とし、あわせて家庭用コージェネレーションシステムおよびガス温水暖房システム「TES」の拡販による温水暖房需要の開発に取り組む2本の柱で積極的に家庭用需要の獲得に努めてまいります。

そのため、従来から進めております「フェイス・トゥ・フェイス訪問」の一層の推進を図り、あらゆる機会をとらえて都市ガスに関する最新情報をすべてのお客さまに積極的にPRしてまいります。

保安強化の面では、お客さまから安心してガスをご使用いただくため、すべてのバーナーに安全センサーが搭載された「Siセンサーコンロ」など安全型ガス機器の普及促進を図るとともに、白ガス管などの経年ガス管取替を継続的かつ積極的に推進してまいります。災害対策としては、地震・津波浸水への備えとして、設備対策・緊急対策を検討・実施してまいります。

加えて、当社が持続的な成長を遂げるための中長期的な課題につきましても引き続き取り組むとともに、コーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえ、各種改革を実行し、継続的に企業価値を高めていくこと並びに経営の健全性を維持向上させるためコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

株主の皆さまには、なにとぞ当社の現状をご賢察くださいます。今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 6 月

取締役社長

敦 井 榮 一



## <ガス販売>

当期末のお客さま件数は期中に2,284件増加して、前期比0.6%増の369,308件となりました。

ガス販売量は、前期比3.4%減の313,319千 $\text{m}^3$ となりました。用途別では、家庭用ガス販売量は冬場の気温が前年に比べ高めに推移したことにより、給湯・暖房用需要が減少したことから、前期比4.1%減の141,881千 $\text{m}^3$ となりました。業務用（商業用、工業用、その他用）ガス販売量は、冬場の気温が前年に比べ高めに推移したことに加え、夏場の気温が前年に比べ低めに推移した影響により空調用需要が減少したことや、お客さま設備の稼働減少により、前期比2.8%減の171,438千 $\text{m}^3$ となりました。

ガス売上高につきましては、ガス販売量の減少に加え原料費調整制度に基づくガス料金単価の引き下げがあったことから、前期比10.8%減の333億93百万円となりました。

## <ガス工事>

受注工事収益につきましては、集合住宅の新築工事が増加したことなどにより、前期比3.9%増の14億89百万円となりました。

## <ガス機器>

器具販売収益につきましては、戸建住宅および大型物件向けの販売が減少したことから前期比11.2%減の29億76百万円となりました。

## <総売上高および収支の状況>

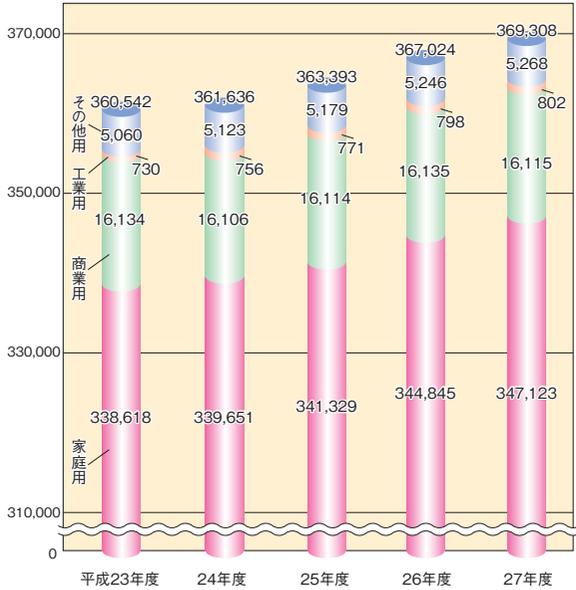
当期の総売上高は前期比10.3%減の379億48百万円となりました。

費用面につきましては、ガス販売量の減少や原油価格下落に伴い原料費が減少したことに加え、経営全般にわたり経費の削減に努めたことなどから、新たに設定した器具保証引当金への繰入がありましたものの前期比11.1%減の365億98百万円となりました。

この結果、営業外収益および営業外費用を加えた経常利益は前期比17.7%増の15億87百万円、当期純利益は前期比7.9%増の11億23百万円となりました。

## ■お客さま件数

(単位：件)



## ■ガス販売量

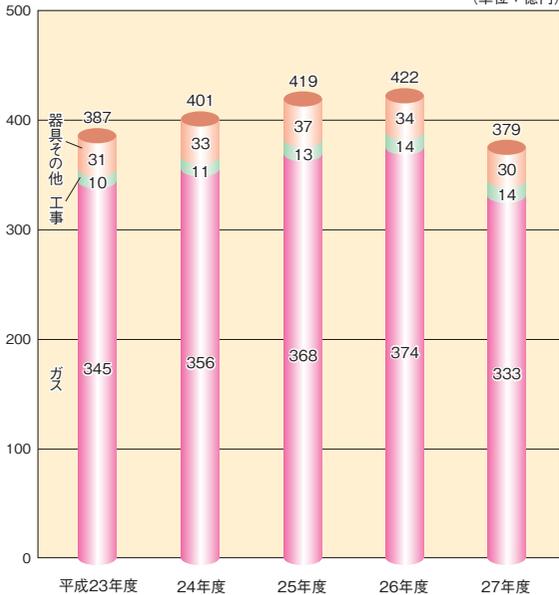
(単位：百万m)



(注) 1m<sup>3</sup>当たり45.0メガジュールに換算して表示しております。

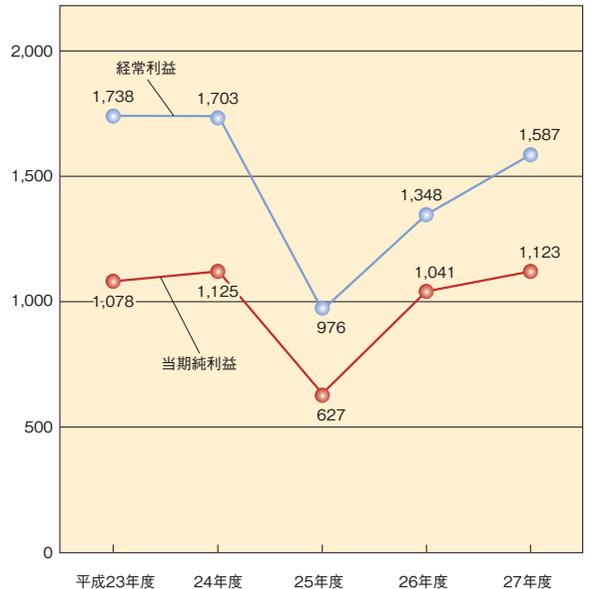
## ■総売上高

(単位：億円)



## ■経常利益・当期純利益

(単位：百万円)



# 計算書類

## 貸借対照表

資産の部	当期末 (H28.3.31)	前期末 (H27.3.31)
<b>固 定 資 産</b>	<b>39,219</b>	<b>39,502</b>
有 形 固 定 資 産	34,730	34,793
製 造 設 備	5,180	5,505
供 給 設 備	28,412	28,157
業 務 設 備	907	933
附 帯 事 業 設 備	7	8
建 設 仮 勘 定	222	188
無 形 固 定 資 産	1,919	1,887
借 地 権	1	1
鉱 業 権	0	0
の れ ん	1,264	1,357
その他無形固定資産	653	528
投 資 そ の 他 の 資 産	2,569	2,821
投 資 有 価 証 券	1,994	2,237
関 係 会 社 投 資	310	310
出 資 金	0	0
長 期 前 払 費 用	218	227
そ の 他 投 資	61	64
貸 倒 引 当 金	△ 14	△ 18
<b>流 動 資 産</b>	<b>7,416</b>	<b>7,241</b>
現 金 及 び 預 金	3,417	2,636
受 取 手 形	215	185
売 掛 金	2,853	3,401
関 係 会 社 売 掛 金	11	14
未 収 入 金	229	254
製 品	69	86
原 料	11	16
貯 蔵 品	286	299
関 係 会 社 短 期 債 権	35	45
繰 延 税 金 資 産	243	254
そ の 他 流 動 資 産	50	56
貸 倒 引 当 金	△ 8	△ 9
<b>繰 延 資 産</b>	<b>1</b>	<b>75</b>
開 発 費	1	75
<b>資 産 合 計</b>	<b>46,637</b>	<b>46,820</b>

(単位：百万円)

負債の部	当期末 (H28.3.31)	前期末 (H27.3.31)
<b>固 定 負 債</b>	<b>3,510</b>	<b>4,364</b>
長 期 借 入 金	1,440	2,250
繰 延 税 金 負 債	197	371
退 職 給 付 引 当 金	75	94
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	—	442
ガ ス ホ ル ダ ー 修 繕 引 当 金	1,079	1,206
器 具 保 証 引 当 金	271	—
そ の 他 固 定 負 債	446	—
<b>流 動 負 債</b>	<b>7,013</b>	<b>6,920</b>
1年以内に期限到来の固定負債	810	810
買 掛 金	2,119	2,865
未 払 金	1,249	968
未 払 費 用	984	925
未 払 法 人 税 等	608	426
前 受 金	396	290
預 り 金	31	29
関 係 会 社 短 期 債 務	813	591
役 員 賞 与 引 当 金	—	12
<b>負 債 合 計</b>	<b>10,524</b>	<b>11,285</b>
<b>純資産の部</b>	<b>当期末 (H28.3.31)</b>	<b>前期末 (H27.3.31)</b>
<b>株 主 資 本</b>	<b>35,184</b>	<b>34,444</b>
資 本 金	2,400	2,400
資 本 金	2,400	2,400
資 本 剰 余 金	21	21
資 本 準 備 金	21	21
利 益 剰 余 金	32,779	32,039
利 益 準 備 金	600	600
そ の 他 利 益 剰 余 金	32,179	31,439
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	102	108
別 途 積 立 金	26,100	26,100
繰 越 利 益 剰 余 金	5,977	5,231
自 己 株 式	△ 16	△ 15
自 己 株 式	△ 16	△ 15
<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>928</b>	<b>1,090</b>
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	928	1,090
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	928	1,090
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>36,113</b>	<b>35,535</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>46,637</b>	<b>46,820</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

費用	当期 (H27.4~H28.3)	前期 (H26.4~H27.3)
売上原価	18,645	23,075
期首たな卸高	86	75
当期製品製造原価	13,755	17,447
当期製品仕入高	4,956	5,739
当期製品自家使用高	83	100
期末たな卸高	69	86
(売上総利益)	(14,748)	(14,349)
供給販売費	11,119	11,307
一般管理費	2,171	2,076
(事業利益)	(1,457)	(965)
営業雑費用	4,654	4,699
受注工事費用	1,448	1,412
器具販売費用	3,206	3,286
附帯事業費用	7	8
(営業利益)	(1,349)	(1,127)
営業外費用	39	50
支払利息	38	50
雑支出	0	0
経常利益	1,587	1,348
税引前当期純利益	1,587	1,440
法人税等	546	274
法人税等調整額	△82	125
当期純利益	1,123	1,041
合計	38,225	42,658

収益	当期 (H27.4~H28.3)	前期 (H26.4~H27.3)
製品売上	33,393	37,424
ガス売上	33,393	37,424
営業雑収益	4,483	4,798
受注工事収益	1,489	1,433
器具販売収益	2,976	3,352
その他営業雑収益	17	12
附帯事業収益	70	70
営業外収益	277	272
受取利息	1	1
有価証券利息	-	0
受取配当金	65	61
導管修理補償料	61	57
受取賃貸料	90	91
雑収入	57	60
特別利益	-	92
負のれん発生益	-	92
合計	38,225	42,658

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	当期末 (H28.3.31)	前期末 (H27.3.31)	負債の部	当期末 (H28.3.31)	前期末 (H27.3.31)
<b>固 定 資 産</b>	<b>44,904</b>	<b>45,609</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>4,533</b>	<b>4,943</b>
有 形 固 定 資 産	38,430	38,490	長 期 借 入 金	1,488	2,356
製 造 設 備	5,180	5,505	繰 延 税 金 負 債	9	411
供 給 設 備	30,891	30,680	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	162	621
業 務 設 備	1,114	1,147	ガ ス ホ ル ダ ー 修 繕 引 当 金	1,191	1,294
そ の 他 の 設 備	988	936	器 具 保 証 引 当 金	266	-
建 設 仮 勘 定	255	220	退 職 給 付 に 係 る 負 債	825	78
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>1,945</b>	<b>1,909</b>	そ の 他 固 定 負 債	589	180
の れ ん	1,264	1,357	<b>流 動 負 債</b>	<b>8,178</b>	<b>8,386</b>
そ の 他 無 形 固 定 資 産	681	552	1年以内に期限到来の固定負債	867	869
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	<b>4,528</b>	<b>5,208</b>	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	2,727	3,564
投 資 有 価 証 券	3,027	3,579	未 払 法 人 税 等	771	614
退 職 給 付 に 係 る 資 産	-	45	役 員 賞 与 引 当 金	4	17
繰 延 税 金 資 産	412	423	そ の 他 流 動 負 債	3,807	3,321
そ の 他 投 資	1,106	1,182	<b>負 債 合 計</b>	<b>12,712</b>	<b>13,330</b>
貸 倒 引 当 金	△ 18	△ 21	<b>純 資 産 の 部</b>	<b>当 期 末 (H28.3.31)</b>	<b>前 期 末 (H27.3.31)</b>
<b>流 動 資 産</b>	<b>12,618</b>	<b>12,026</b>	<b>株 主 資 本</b>	<b>41,631</b>	<b>40,567</b>
現 金 及 び 預 金	7,306	5,871	資 本 金	2,400	2,400
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	3,890	4,524	資 本 剰 余 金	21	21
有 価 証 券	300	350	利 益 剰 余 金	39,227	38,162
繰 延 税 金 資 産	307	324	自 己 株 式	△ 16	△ 15
そ の 他 流 動 資 産	823	966	<b>そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額</b>	<b>447</b>	<b>1,193</b>
貸 倒 引 当 金	△ 9	△ 11	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	930	1,093
<b>繰 延 資 産</b>	<b>1</b>	<b>74</b>	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	△ 483	99
開 発 費	1	74	<b>非 支 配 株 主 持 分</b>	<b>2,733</b>	<b>2,619</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>57,524</b>	<b>57,710</b>	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>44,812</b>	<b>44,380</b>
			<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>57,524</b>	<b>57,710</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■連結損益計算書

費用	当期 (H27.4~H28.3)	前期 (H26.4~H27.3)
売上原価	28,835	34,254
(売上総利益)	(17,140)	(17,049)
供給販売費及び一般管理費	15,084	15,257
供給販売費	12,321	12,568
一般管理費	2,763	2,688
(営業利益)	(2,055)	(1,792)
営業外費用	51	55
支払利息	39	53
その他	12	2
経常利益	2,289	2,010
税金等調整前当期純利益	2,289	2,103
法人税、住民税及び事業税	775	508
法人税等調整額	△64	143
当期純利益	1,578	1,450
非支配株主に帰属する当期純利益	130	110
親会社株主に帰属する当期純利益	1,448	1,340
合計	46,261	51,670

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

収益	当期 (H27.4~H28.3)	前期 (H26.4~H27.3)
売上高	45,975	51,304
営業外収益	286	273
受取利息	10	11
受取配当金	53	49
導管修理補償料	80	63
受取賃貸料	77	78
その他	64	71
特別利益	—	92
負ののれん発生益	—	92
合計	46,261	51,670

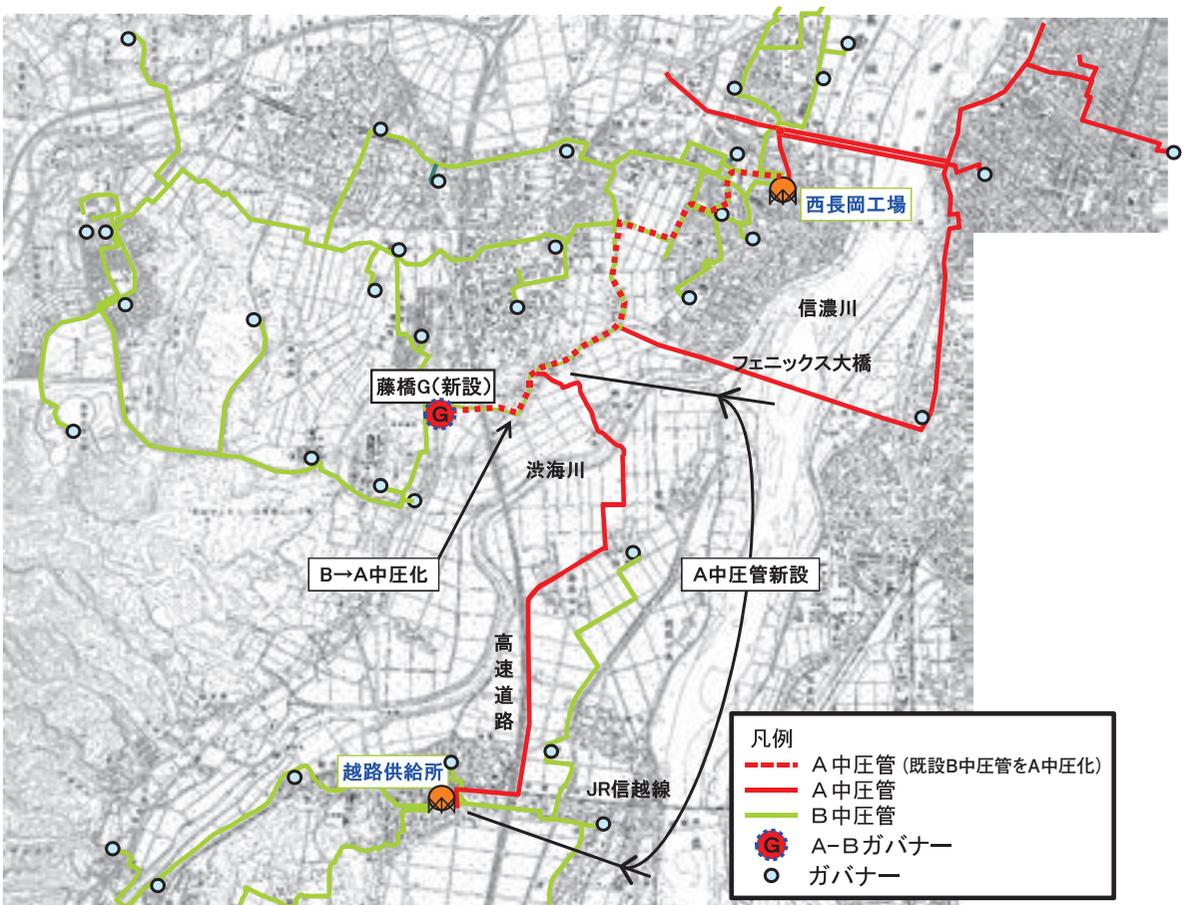
## ■連結子会社（5社）

北陸天然瓦斯興業(株)、北陸ガスエンジニアリング(株)、  
北陸ガスリビングサービス(株)、蒲原瓦斯(株)、北栄建設(株)

## ■西長岡－越路間の導管接続工事完了

長岡市越路地区のさらなる安定供給の確保と業務の効率化を目的に、平成 25 年から施工してきた西長岡工場と越路供給所間を中圧導管（A 中圧）で接続する工事が完了し、平成 27 年 12 月より西長岡工場で製造したガスが越路供給所へ流れ始めました。これにより、今後、越路地区への供給は西長岡工場にて一括管理されることから、生産効率の向上が期待できます。

また本工事完了により、新たに越路地区でのエネファームの販売が可能となりました。



越路地区中圧ルート図

## ■インターネットサービスを拡充

当社は、さらなるお客さまサービスの向上を図るため、ホームページ (<http://www.hokurikugas.co.jp/>) でのインターネットサービスを拡充いたしました。

- ①ホームページのスマートフォン対応
- ②インターネットでの閉開栓受付可能期間の延長（閉開栓日の3営業日前まで受付可能）
- ③北陸ガス公式 Facebook ページの開設 (<https://www.facebook.com/hokurikugas/>)

これらにより閲覧性の向上はもちろん、お引越しの時などにおけるインターネットでのお手続きがさらに便利になりました。また、Facebook ページでは、当社キャラクター「ガスマーくん」により、身近でタイムリーな話題を随時発信してまいります。



スマートフォン対応



Facebookトップページ

## ■株式会社長岡火力発電所 進出協定を締結

長岡市西部丘陵東地区に発電事業を行う(株)長岡火力発電所が進出することが決定し、4月19日に長岡市と進出協定を締結いたしました。

当社は発電所向けに年間約8,000万 $\text{m}^3$  (41.8605MJ) のガス（長岡地域の都市ガス販売量の約6割に相当）を供給します。これから工事が行われ、発電事業の開始は平成30年7月を予定しております。



締結式

家庭用燃料電池

## エネファーム

ガ、スマート!

ガスで電気をつくり、  
発電時の熱で  
お湯をつくります



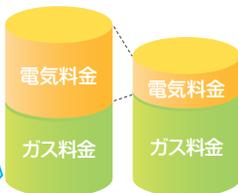
天然ガスから水素を取り出し、  
空気中の酸素と化学反応させて  
電気と熱をつくります。



### ポイント ① 光熱費がおトク!

エネファーム導入による  
光熱費削減イメージ

購入電力量が  
約 **67%** 年  
ダウン!



従来システム エネファーム

※戸建住宅4人家族 (150㎡、新築)  
当社シミュレーションによる算出

### ポイント ② 10年フルメンテナンスサポート!

お客さまにいつまでも快適にエネファームをお使いいただくために万全のアフターサービスをご用意しております。

#### 定期点検

5.2年に点検や消耗部品  
を無償で交換いたします。



#### 修理対応

故障発生時には無償で  
修理対応いたします。

### ポイント ③ 停電時も電気が使えて安心!

停電時にも照明や給湯が使用でき安心です。  
また、テレビ等で情報収集も可能です。



照明 40W  
(ダウンライト5個)



テレビ 152W



床暖房



シャワー

※自立専用コンセントが必要  
となります。

※エネファームが発電してい  
ない場合や、ガス供給が停  
止している場合は自立運転  
はいたしません。

※出典：(一財)省エネルギー  
センター「省エネ性能カ  
タログ(2010年夏版)」

### ポイント ④ 優れた環境性!

年間  
約 **1,300kg** の  
CO<sub>2</sub>を削減

※戸建住宅4人家族 (150㎡、新築)  
当社シミュレーションによる算出

快適環境おしらせ機能付き

住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

# 快適ウォッチ

## が、スマート!

熱中症やインフルエンザなどの  
ウイルス対策にも役立つ、  
新たな警報器



住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

# 快適ウォッチ

快適環境おしらせ機能付き

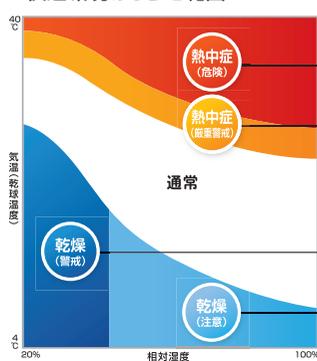
住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

# 快適ウォッチ



## 火災・ガス・CO警報に加え、熱中症と乾燥をおしらせ!

### 快適環境おしらせ範囲



※WBGT: 暑熱環境下におけるリスクの度合いを判断するために用いられる指標

### 夏は熱中症対策に

温度と湿度から「暑さ指数(WBGT)」※を算出し、  
熱中症の危険がある状態をおしらせ



**熱中症(危険)**  
危険  
音声  
+ 音波  
緑ランプ点灯

ポーン 部屋がたいへん暑  
くなっています。風通しを  
よくし水分が足りなくな  
りましょう



**熱中症(厳重警戒)**  
厳重警戒  
緑ランプ点灯

### 冬はインフルエンザなどの対策に

空気が乾燥したインフルエンザなどに  
かかりやすい状態をおしらせ



**乾燥(警戒)**  
警戒  
音声  
+ 音波  
青ランプ点灯

ポーン 部屋が乾燥しな  
いよう心がけましょう



**乾燥(注意)**  
注意  
青ランプ点灯

# Si センサーコンロ

全口センサー搭載

## が、スマート!

「Siセンサーコンロ」の全ての機種が全口安全センサー搭載。安心機能いっぱいの頼れるSiセンサーコンロでついうっかりも安心です。グリルでは焼き魚はもちろんお菓子づくりまで、お料理がもっと楽しく、美味しく、簡単につくれます。また、ビルトインコンロは既設のコンロから簡単に取り替えられます。



# 会社の概要 (平成28年3月31日現在)

設立	大正2年6月2日
資本金	24 億円
発行可能株式総数	96,000 千株
発行済株式の総数	48,000 千株
株主数	2,904 名
主要な事業内容	1.都市ガスの製造、供給および販売 2.ガス受注工事の施工 3.ガス機器の販売

## ■事業所

本社	新潟市中央区東大通一丁目2番23号
新潟支社	新潟市中央区附船町一丁目4401番地
長岡支社	長岡市西神田町二丁目1番地2
三条事務所	三条市北中1番8号

## ■事業所、工場等および供給区域



## ■取締役および監査役

(平成28年6月29日現在)

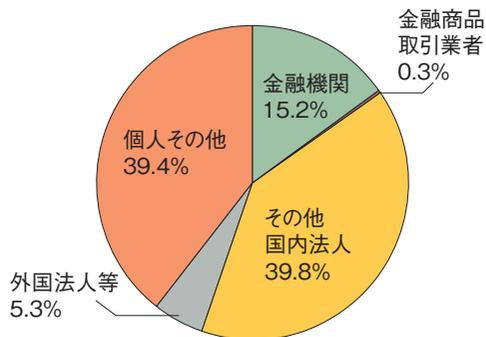
取締役社長	敦井 榮 一
取締役副社長	敦井 一 友
常務取締役	今井 眞 哉
常務取締役	平松 健 二
取締役	今井 康 晴
取締役	津野 徹
取締役	中野 充
取締役	渡邊 義 彦
取締役	高橋 嘉津夫
取締役	小林 宏 一
取締役	並木 富士雄
取締役	鶴巻 克 恕
常勤監査役	篠原 昭 博
監査役	西潟 精 一
監査役	能勢 正 敏

# 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

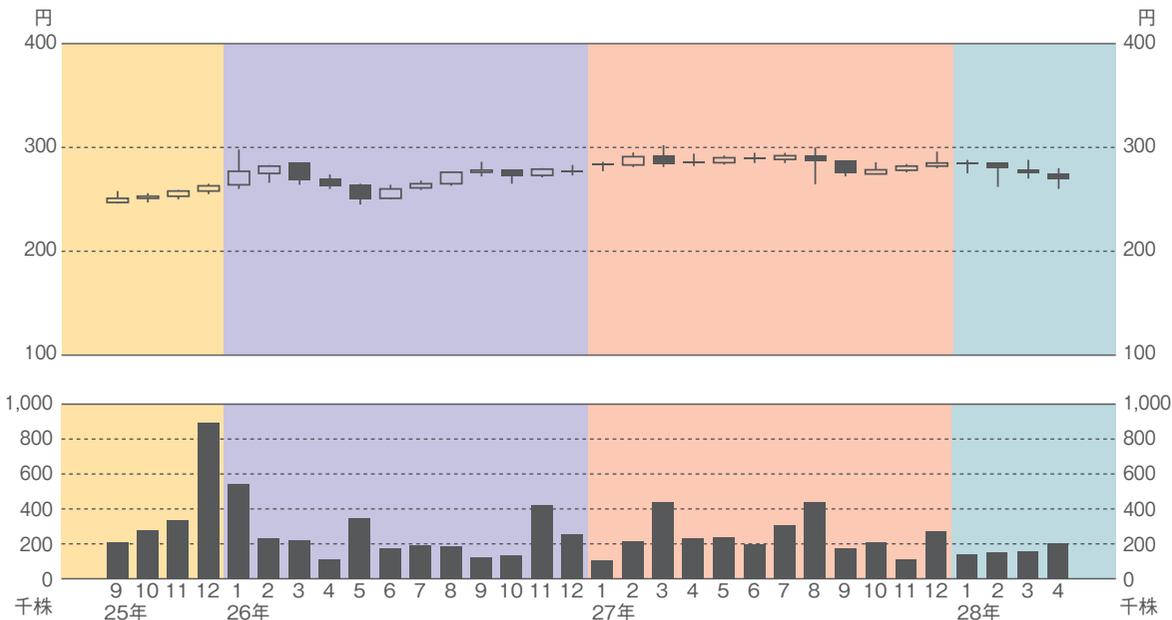
## ■大株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
敦井産業株式会社	5,075	10.57
公益財団法人北陸瓦斯奨学会	3,477	7.24
新潟ヒューム管株式会社	2,618	5.45
公益財団法人敦井奨学会	2,258	4.70
ピーエイチフォーファイテイループライドストックファンド (プリンパルオールセクターサポートフォリオ)	1,662	3.46
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(管理信託口・79211)	1,607	3.34
株式会社第四銀行	1,371	2.85
三条信用金庫	1,182	2.46
敦井 一友	840	1.75
敦井株式会社	798	1.66

## ■所有者別株式分布状況



## ■株価および出来高の推移



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日	
	期末配当	3月31日	
	中間配当	9月30日	
単元株式数	1,000株		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

### 公告方法

当社のホームページ(<http://www.hokurikugas.co.jp>)に掲載します。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	9537

### 〈上場株式配当等の支払いに関する通知書について〉

租税特別措置法の規定に基づき、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書をお送りすることとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成28年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成28年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

## 北陸瓦斯株式会社

新潟市中央区東大通一丁目2番23号

TEL 025-245-2211

<http://www.hokurikugas.co.jp>



※この印刷物は、環境に配慮してFSC® 認証林及び適切に管理された森林から作られたFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。



**Facebook**  
北陸ガス公式ページ




北陸ガス フェイスブック 検索

<https://www.facebook.com/hokurikugas/>